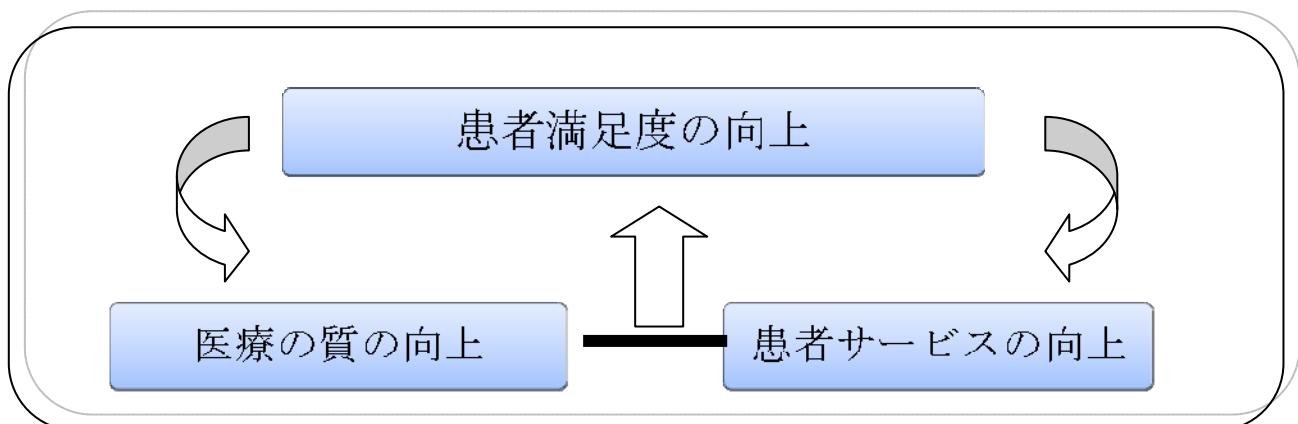


基本方針 1：良質な医療サービスの提供

《患者さんの視点》

1 方針

地域住民の医療ニーズに的確に対応しながら、『質の高い医療サービスの提供』と『安らぎのある落ち着いた医療環境を提供できる患者サービスの向上』を通じ、患者さんの満足度の向上を図る。



2 共通目標と重点取組事項



[政策医療や予防医療の充実]

民間医療機関等では対応が困難なへき地医療や精神・感染症医療等政策医療を安定して提供するとともに、保健・医療・福祉の連携により、県医療計画に定める4疾病5事業※や生活習慣病対策などの予防医療等の充実を図る。

※4疾病5事業：4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）5事業（救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療、小児医療）

[病院活性化による医療の質的向上]

全スタッフが一丸となって「NST（栄養サポートチーム）」に代表される医師とコメディカルスタッフとの連携したチーム医療に取り組むとともに、病院内部の様々な委員会の活性化を図ることで、医療の質を確保する。

[病院機能評価の取得]

病院機能評価の取得を通じて、病院機能の向上を図るとともに、患者さんの権利や安全・安心を確保するための体制整備を行う。

[説明責任の発揮]

患者さんとの信頼関係を構築するため、治療内容等について十分に説明を行い、患者さんの意見を尊重しながら同意を得た上で治療を実施するインフォームド・コンセントの充実を図る。

○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆病院機能評価の認証更新 医療の質の向上と信頼の確立を目的として、財団法人日本医療機能評価機構が中立的な立場で医療機関の機能を評価・審査する病院機能評価の認定更新を図る。	【見直】 更新 矢吹病院	【見直】 更新 南会津病院	【見直】 更新 宮下病院
	◆インフォームド・コンセントの充実 良質な医療の提供を図るため、患者さんに対する的確な診断と治療はもとより、診断内容、治療計画さらには副作用やリスク等を含めて十分説明し、患者さんが理解、納得した上で治療行為を選択していくインフォームド・コンセントの充実を図る。	【継続】	【継続】	【継続】
南会津病院	◆透析機器の増設による透析機能の強化 透析患者の利便性向上や透析患者の増に向けて、透析設備の増設を図る。	【新規】 5台増設	【見直】 検討	【継続】
	◆健康診断・人間ドック事業の充実 地域の要望に対応するため、平成20年度より開始した人間ドックの受診枠を拡大して充実を図る。	【見直】 受診枠拡大	【継続】	【継続】

目標2

・患者サービスの向上

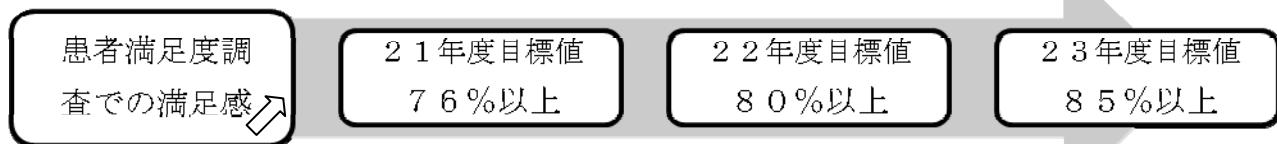
[実践的な接遇能力向上]

患者さんの立場を考えて行動することができる心ある職員となることを目指し、患者さんを尊重した言葉遣いや応待を実践するロールプレイなどの実践的な学習方法などを取り入れた接遇研修会を定期的に開催し、職員の接遇能力の向上を図る。

[病院全体の業務改善]

患者さんに良質なサービスを提供できるよう、待ち時間の短縮を始めとする業務改善に職員が一丸となって取り組む。

○ 共通目標



○ 重点取組事項

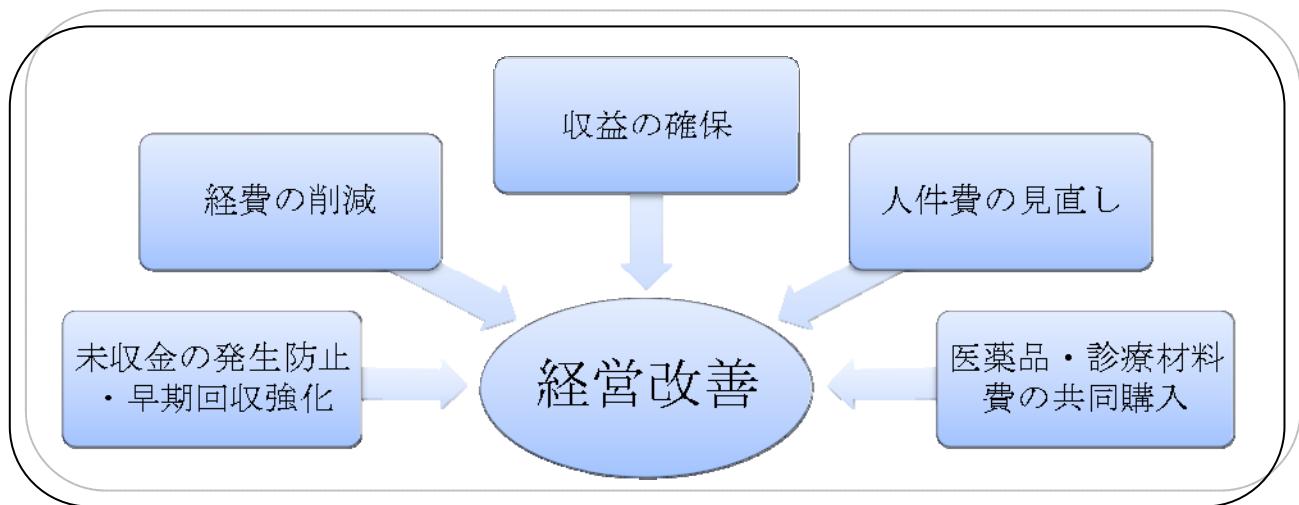
取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆患者アンケート調査や接遇向上委員会による接遇の向上 患者アンケート調査やご意見箱の設置などにより、患者さんのニーズや意見を把握できる体制を整えるとともに、定期的に接遇向上委員会を開催し、接遇技術の向上を図るための研修会やロールプレイ等の学習会を企画するなど、患者さんの立場に立った接遇サービスの向上を図る。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆外来待ち時間の短縮 外来予約システムの見直しを行うことで、予約診療の充実・拡充を図るとともに、外来待ち時間の短縮を推進し、患者さんが満足できる医療の提供に努める。	【継続】	【継続】	【継続】

基本方針2：収益確保と費用削減による健全な病院経営

《健全な病院経営の視点》

1 方針

良質で安全な医療を継続的に提供していくためには、健全な病院経営の確立が前提であることから、医師確保をはじめ、経営基盤の確立に向けた多様な取組みを行う。



2 共通目標と重点取組事項

目標1

・収益の確保

[医療機能の充実]

医師確保による医療機能の充実を図るとともに、適切な施設基準の取得や診療報酬請求漏れの防止、査定率減少に取り組む。

患者数の増加を図るため、健康診断の充実や特定保健指導の取組みを通じて、生活習慣病対策など予防医療に力を入れるとともに、透析などの特殊外来や訪問診療・訪問看護の充実に取り組む。

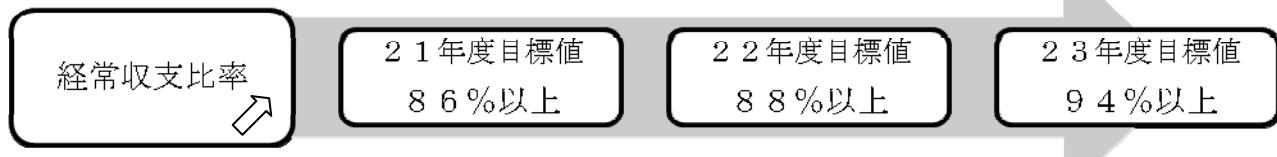
[先進医療機器の導入]

質の高い医療の提供や収益確保を図るために、計画的に先進医療機器の導入を行う。

[外部意見の導入]

多様な取組みにより経営基盤の確立を図るために、病院経営の専門家など外部の方の意見を積極的に取り入れる。

○ 共通目標



○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆常勤医師の確保 関係機関等と連携しながら、常勤医師を確保することで、安定的な診療体制の確立を図る。	【継続】	【継続】	【継続】
南会津病院	◆DPC病院への移行による収益の確保 DPC（包括支払制度）病院への移行に向けて、引き続きDPC準備病院としてデータの収集等を行う。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆透析機器の増設による透析機能の強化（再掲） 透析患者の利便性向上や透析患者の増に向けて、透析設備の増設を図る。	【新規】 5台増設	【見直】 検討	【継続】

目標2

・未収金の発生防止と早期回収の強化

[医療相談の実施]

新たな未収金発生の抑制を図るために、高額療養費制度などの周知徹底や医療費に関する面談を行うなど、全職員の共通認識の下で医療相談を積極的に実施する。

[未収金マニュアルの活用]

喫緊の課題である未収金残高の削減に向けて、県立病院医業未収金マニュアルを活用し、新たな未収金発生を防止するとともに、現存する未収金の早期回収に努める。

[効果的な未収金対策の推進]

未収金回収については、電話や文書での督促、自宅訪問などを継続的な実施により、早期回収に向けた効果的な対策を推進する。

○ 共通目標



○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆未収金の発生防止と早期回収の強化 医療相談室等と連携しながら、未収金となるおそれのある患者に早期に接触し未収金の発生を防止する。 未収金については、定期的に文書による納付依頼や督促、電話や訪問による納付交渉等を行い早期回収に努める。	【見直】 強化	【見直】 強化	【見直】 強化

目標3

・費用の見直し

[人件費の抑制]

更なる総人件費の抑制を図るため、給与費の抑制や、病棟・病床数の見直し、業務の効率化による職員配置の適正化、委託の推進などに取り組む。

[診療材料・医薬品の費用削減]

更なる材料費の削減を図るため、平成20年度に導入した新型SPDにより、医薬品・診療材料費の共同購入や適正管理を徹底する。

[日常的な経費節減]

日常的な経費の削減を図るため、光熱水費の更なる節減や価格変動に応じた契約単価の見直しによる燃料費の削減、委託業務における業務内容の見直しなどを行う。

○ 共通目標



○ 重点取組事項

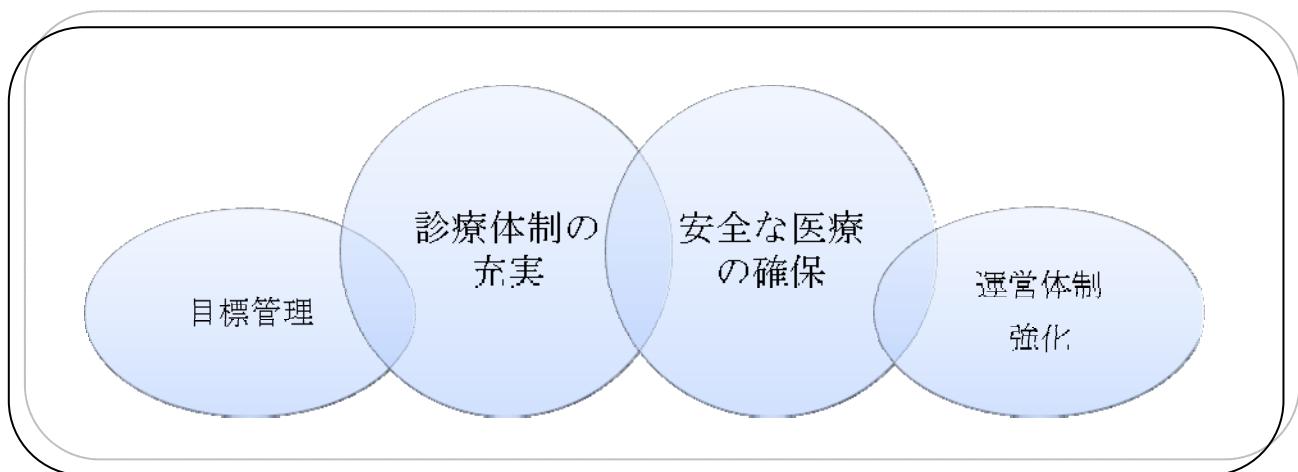
取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆業務委託内容の見直しによる委託費削減 委託業務の契約内容等についてゼロベースで見直しを行うとともに、入札方式や複数年契約の検討、医療機器の調達における保守管理を考慮した契約実施などにより、委託費用の削減に取り組む。	【見直】 強化	【見直】 強化	【見直】 強化
	◆消耗品費や光熱水費等の削減 消耗品や光熱水費等の経費削減を図るため、職員の意識改革を進める。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆新型ＳＰＤによる医薬品費等の削減 材料費の削減を図るため、平成20年度に導入した新型ＳＰＤにより、医薬品・診療材料費の共同購入や適正管理を徹底する。	【継続】	【継続】	【継続】
南会津病院	◆病床削減の実施 診療圏の人口動向や今後の患者数見込み等を考慮し、病床数の削減を実施する。	【新規】 病床削減		

基本方針3：医療提供体制の充実強化

《病院の体制整備の視点》

1 方針

地域住民に安全で安心な医療を提供し、信頼される病院を目指していくため、これから県立病院を担う専門的な知識を持った医師の確保・育成、診療体制の充実を図るとともに、医療安全対策の一層の強化を図る。



2 共通目標と重点取組事項



[医師確保等の充実強化]

県立医科大学等との連携や医師紹介事業者の活用、公募による医師確保策の充実強化を図るとともに、医師の給与の見直しや勤務環境の改善などの待遇改善を行い、医師にとって魅力ある職場づくりを行う。

また、医師確保緊急対策プログラム※に基づき、医師確保に取り組む。

※県の地域医療対策協議会で検討され、平成21年度から実施

[医療の質と調和した経営改善]

「医療の質」、「経営の質」の両面においてバランスがとれた病院経営を進めるため、5つの視点（患者さんの視点・健全な病院経営の視点・病院の体制整備の視点・人材育成の視点・地域連携の視点）に沿った基本方針に基づく経営改革を実施する。

○ 共通目標



*H23年度の医師数は、大野病院を除くと60人

○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆常勤医師の確保（再掲） 安定的な診療体制の確立を図るため、関係機関等と連携しながら、常勤医師を確保する。	【継続】	【継続】	【継続】
南会津病院	◆研修病院としての役割 県立医科大学や自治医科大学等との連携の下、臨床研修病院（協力型）として臨床研修医師や家庭医プログラムに基づく実習生等の受入体制の強化を図る。	【継続】	【継続】	【継続】

目標2

・医療安全対策の強化

[不断の意識啓発]

医療の安全性を高め、患者さんにより信頼される病院となるため、職員全員の医療事故防止に向けた一層の意識啓発と病院全体の危機管理を不斷に取り組む。

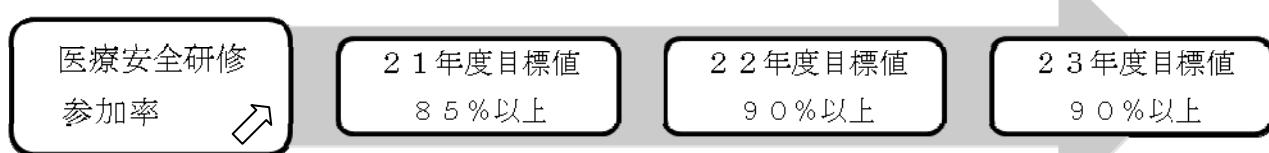
[組織的な体制整備]

医療安全を総合的に推進する医療安全担当の配置、医療事故防止マニュアルの不斷の見直し、医療事故防止対策委員会で医療事故の発生防止対策の検討、医療事故防止に関する研修会の定期的な開催など、医療安全対策に病院全体で組織的に取り組み、安全な医療の確保を図る。

[マニュアルの周知徹底]

危機発生時に迅速かつ的確な対応が図られるよう、普段から研修会等において、医療事故防止マニュアルの周知徹底に努める。

○ 共通目標



○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	<p>◆専任の医療安全担当による管理体制の強化や研修会の開催等による安全対策の強化</p> <p>○専任の医療安全担当を配置する。</p> <p>○医療安全対策委員会等の活動を強化して、医療事故防止や院内感染防止に関する情報の収集やアクシデント・インシデント事例の検証等を行う。</p> <p>○定期的に医療事故防止のための研修会を開催し、マニュアルの見直しや改善事項等について職員への指示を徹底するなど、医療の安全確保に総合的かつ組織的に取り組む。</p>	【継続】	【継続】	【継続】

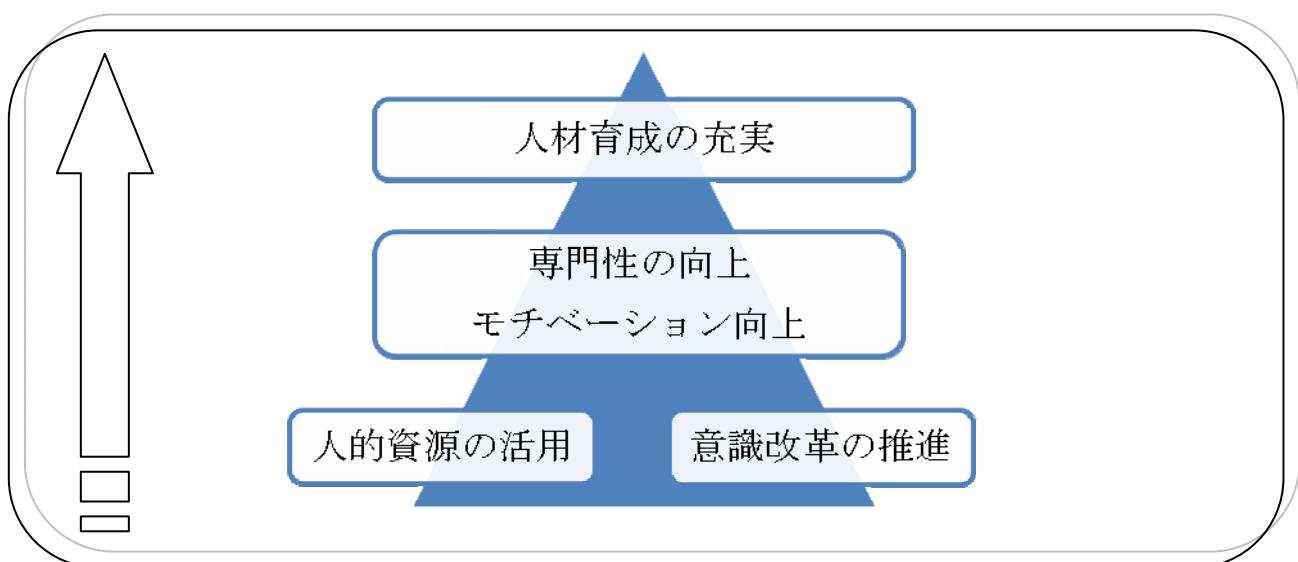
基本方針 4：職員の資質向上と人材育成

《人材の育成の視点》

1 方針

地域住民に良質な医療サービスを提供するという基本姿勢に立ち、部門間の連携や積極的な対話をすすめ、コミュニケーション能力の向上を図りながら、職員の経営参加に対する意識の向上、職場の活性化、組織風土の改善を図る。

また、院内外の人的資源を有効に活用しながら、次世代を担う職員や核となるリーダーの育成、職員の専門性向上への支援を実施する。



2 共通目標と重点取組事項



[人材の積極的活用]

組織の活性化や職員のモチベーションの向上を図るために、人的資源としての院内の優秀な人材の積極的な活用を図る。

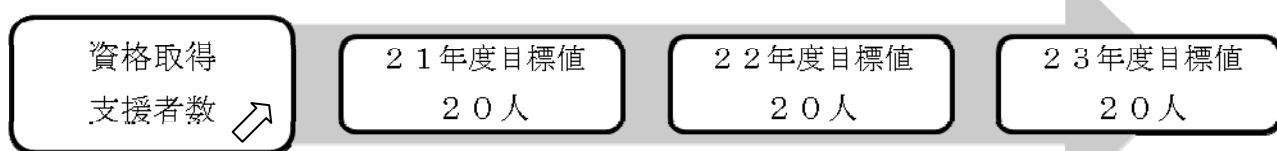
[リーダー育成]

地域住民から信頼される病院となるため、職員の育成を図るとともに、核となるリーダーの育成に努める。

[資質向上の環境づくり]

各種研修会や学会等への参加機会の拡充や教育体制の充実などにより、全体の水準向上を図るとともに、資質向上に取り組める環境づくりに努める。

○ 共通目標



○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆各専門分野のスペシャリストの育成 病院内の組織の活性化と職員のモチベーションの向上を図るために、業務推進に当たってのリーダーを育成するとともに、職員の資質向上を図ることを目的に、医療スタッフの専門的で高度な知識や技能の習得を計画的に進める。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆人材育成のための各種研修会への参加や院内教育の充実 職員の資質向上と組織全体の活性化のため、各種研修会や学会等への参加機会の拡充を図るとともに、病院内における職員教育・研修計画に基づき各種研修会等を定期的に開催する。	【継続】	【継続】	【継続】

目標2

・職員の意識改革

[病院経営研修会の開催]

職員一人一人の経営に対する意識改革を図るため、職員が病院経営に主体的に参加することが重要なことから、経営改善に関わる病院経営研修会を開催する。

[職員満足度調査の実施]

職員のモチベーションの向上を図るために、満足度調査を行い、問題点を把握し改善を行うことで、働きがいを感じる良好な職場環境づくりに努める。

○ 共通目標

職員提案件数



21年度目標値

140件以上

22年度目標値

155件以上

23年度目標値

165件以上

*H23年度の提案件数は、大野病院を除くと140件

○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆職員提案制度の実施 職員の病院経営への参加意識の向上を図るために、患者サービスの向上や業務の効率化、経費の削減・収益の向上に向けた職員提案制度を充実する。	【継続】	【継続】	【継続】

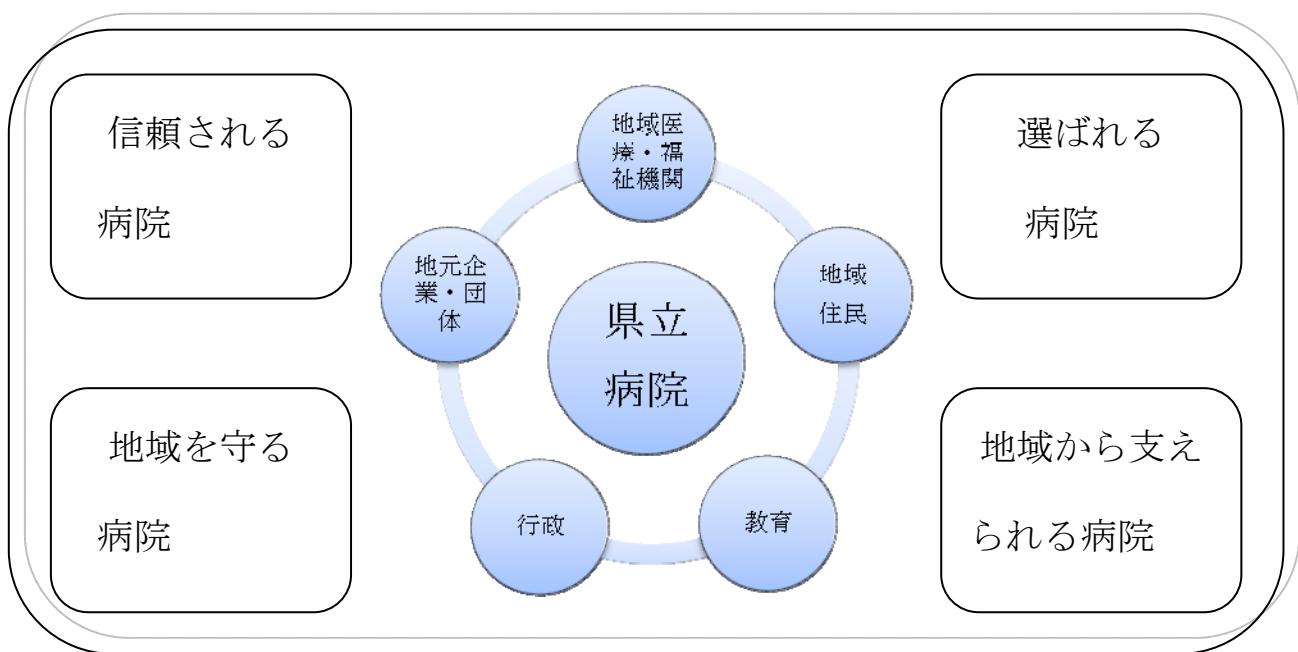
基本方針5：地域との連携・共生

《地域連携の視点》

1 方針

地域のニーズに対応した質の高い医療の提供や収益確保のため、各地域の医療機関や介護福祉施設等との役割分担を図りながら、連携を一層強化していく。

また、地域に親しまれる病院を目指して、地元市町村をはじめとする保健・医療・福祉等の行政機関や各種企業・団体との連携を強化し、地域住民との交流や連携事業を積極的に行う。



2 共通目標と重点取組事項

目標1

・地域医療機関等との連携

[紹介率の向上]

紹介率を向上させながら患者数の増加を図るために、地域の医療機関等との機能分担や訪問を通じての顔の見える連携を積極的に進める。

[社会復帰に向けた体制整備]

患者さんを地域全体でサポートしていくため、医療機関や保健・介護福祉施設、行政機関との連携を強化し、患者さんが適切な治療を受け早期の社会復帰を果たせるような体制整備を図る。

[医師派遣等による支援機能発揮]

へき地医療拠点病院として、国保診療所や介護保健施設への医師派遣による診療応援を実施するなど、地域の病院等との相互協力・支援の取組みを充実する。

[地域生活移行に向けた体制整備]

患者さんの地域生活移行に向けた体制の充実を図るため、ボランティアによる地域住民との交流やグループホームなどとの連携を強化する。

○ 共通目標



○ 重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆地域の医療機関、介護施設、訪問看護ステーション等との連携強化 地域の医療機関や保健・介護福祉施設と連携を強化し、新規患者数の増加を図るとともに、退院支援体制を構築する。	【継続】	【継続】	【継続】
南会津病院	◆国保診療所への診療応援 常勤医師の確保・定着を図り、地域の国保診療所へ医師を派遣するなど、へき地医療拠点病院としての役割を果たす。	【継続】	【継続】	【継続】



[効果的な情報発信]

地域に親しまれる病院となるため、院外広報誌の発行等を通じて医療に関する情報や院内活動などの情報発信に取り組む。

[出前講座等の実施]

地域に信頼される病院を目指し、行政や団体機関等における講演会等への講師派遣、各県立病院が主催する研修会や出前講座などのイベントなど、職員が積極的に地域に出向いた活動を行う。

○重点取組事項

取組機関	取組内容	取組年度		
		21年度	22年度	23年度
共通取組	◆ホームページの充実と院外広報誌の発行 医療に関する情報や院内活動等を地域に幅広く伝えるため、ホームページの充実や院外広報誌の発行を通じて、情報発信機能の強化を図る。	【継続】	【継続】	【継続】
	◆イベントの開催による地域住民との交流促進 健康講座や音楽コンサート等の開催、地元市町村等が主催する医療講演会等への職員派遣などにより、病院の持つ専門的な知識や最新情報を提供し、地域の方々の医療に関する理解促進と普及啓発を図る。	【継続】	【継続】	【継続】